

お買い上げ誠にありがとうございます。ETCロックケース（以下：本製品）は、ETC車載器本体（以下：車載器）を、ETCセットアップ店（以下：販売店）にてご購入の際、同時に販売店にて取り付けする事を前提としております。既に装着後の車載器に取り付ける際は、販売店にご相談ください。車載器の取り付け配線取り回し、アンテナ受信確認等は、車載器メーカーの要領書に基づき実施してください。

安全上のご注意

- 本製品を取り付けることにより、車載器の性能を低下させる恐れのある場合又は、本製品を確実に取り付け出来ない様な改造等が行われている場合は、取り付けする事が出来ません。
- 適応ETC車載器にのみ お使い下さい。取り付け後は、本製品のスムーズな開閉、動作を確認して下さい。確認事項は、2人以上で実施してください。

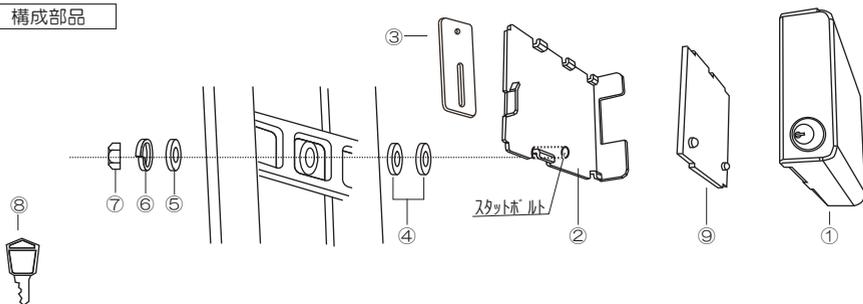
△危険 指示に従わない場合、死亡または重傷に至るもの。

- ハンドル操作時、本製品とフロントフォーク、ブレーキホース等と干渉しないことを確認して下さい。
- フルボトム時、本製品とフェンダー、タイヤ、ブレーキホース等と干渉しないことを確認して下さい。
- コーナリングも想定し、フルボトムの状態で、ハンドル操作を行い、ケースとフロントフォーク、フェンダー、タイヤ、ブレーキホース、配線等と干渉しないことを確認して下さい。
- 取付後のアンテナ（受信）、表示器（ランプ）の動作確認は、ゲート通過時にゲートが開かず、死亡事故へつながりますので、慎重に実施してください。

△危険 指示に従わない場合、死亡または重傷に至る可能性があるもの。

- ケース取付用ボルト、ナットは、確実に締め付けて下さい。締め付けが不十分な場合は、走行中に落下する可能性が高くなります。落下する事で、搭乗者、他の人、物に被害に至らしめる可能性があります。
- 両面テープを貼り付ける面は、汚れ、油分をしっかりと落としてください。
- 取り付け及び取り扱い時に、車載器の配線、アンテナケーブルを無理に引っ張ったり、強く曲げたりしないで下さい。動作不良の原因となります。
- その他当説明書に記載された注意事項、指示に従わなかったことにより生じる事故、車両、ETCロックケース、ステーの破損につきましては一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

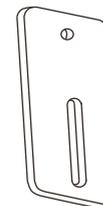
構成部品



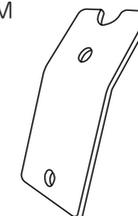
呼番	品名	個数	呼番	品名	個数
①	カバー	1	⑥	Sワッシャー 8mm	1
②	ベース	1	⑦	ロックナット 8mm	1
③	ステー L型、I型 別売り	-	⑧	鍵	2
④	カラー 8mm (外径18mm)	2	⑨	スペーサー (ミツハ用) 別売り	1
⑤	平ワッシャー 8mm (外径16mm)	1	⑩	その他ご用意頂く物 両面テープ	適量

使用ステー

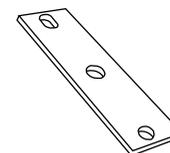
1、I型ステー：DYI



2、ダイナ用前下ステー：DYM



3、D型用裏ステー：TRU



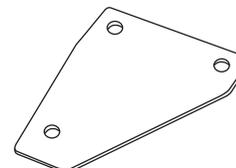
4、L型ステー：SPL



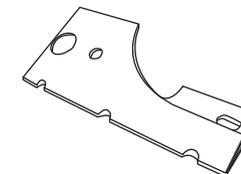
5、O型ステー：SFO



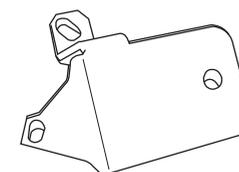
6、スポーツスター用前下ステー：SPM2



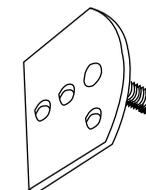
7、スポーツスター用中下ステー：SPN



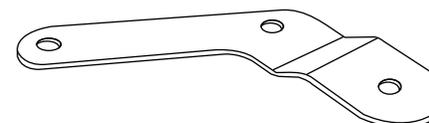
8、スポーツスター用横付けステー：SPY



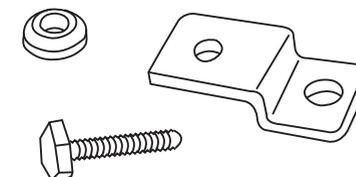
9、D型ステー：TRD



10、Softail用サイドステー：SSB(黒)
SSC(クロームメッキ)



11、Softail用フロントステー：SFS



ロックケース

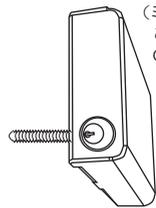
1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N

（ミツバ製車載器 MSC-BE31 を
ご使用の場合は別途スペーサー
G31 が必要です。）



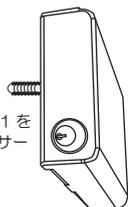
2、ロックケース（下ボルト）：EC11-S

（ミツバ製車載器 MSC-BE31 を
ご使用の場合は別途スペーサー
G31 が必要です。）



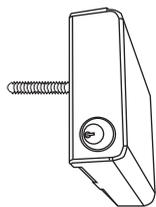
3、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M

（ミツバ製車載器 MSC-BE31 を
ご使用の場合は別途スペーサー
G31 が必要です。）



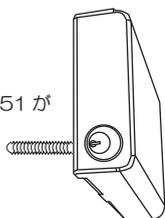
4、ミツバ製車載器
MSC-BE51用ロックケース（センター長ボルト）：EC51-N

（別途スペーサー G51 が
必要です。）



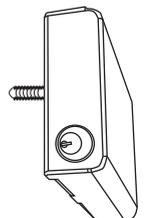
5、ミツバ製車載器
MSC-BE51用ロックケース（下ボルト）：EC51-S

（別途スペーサー G51 が
必要です。）



6、ミツバ製車載器
MSC-BE51用ロックケース（センター短ボルト）：EC51-M

（別途スペーサー G51 が
必要です。）



ダイヤ、リテイルレム

	ロックケース名称	適応 ETC 車載器
1	EC11-N	日本無線(株) (株)ミツバ サコウチ
2	EC-11S	JRM-11 MSC-BE31
3	EC11-M	JRM-21
4	EC51-N	(株)ミツバ サコウチ
5	EC51-S	MSC-BE51(W)
6	EC51-M	MSC-BE700(E)

施錠・開放の方法

キーシリンダー施錠と解除



・ロックされた状態でのみ、鍵の抜き差しが出来ます。

※エンジンガードは、純正品を対象としております。
※本装置を取り付けた場合に、他の部品とのクリアランスが少なくなる場合がございます。
フルボトム、ハンドルを左右にきった状態でのクリアランスを必ずご確認ください。
※ETC車載器本体のモデルチェンジにより、取り付け方法が異なる場合があります。
・詳細は、販売店スタッフまで、お問い合わせください。

付属の透明袋活用

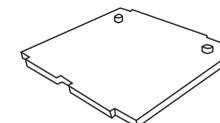
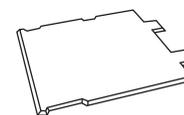
・付属の透明袋（110×79mm）は、カバー①の内面に貼り付けることにより、
本製品取扱説明書、その他書類の収納にご利用いただけます。
・透明袋には、防水効果はありません。

ケースの開閉について

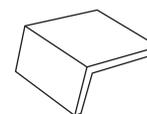
・ケースのカバー部分と土台部分との嵌め合いは若干固めに設定されております。これは走行中に異音が生じることを防止
するためです。
・ケースのカバー部分と土台部分との嵌め合いはケース内部に緩衝材を差し入れる、カバーを引っかける土台部分の突起箇
所の開き具合を微調整することで変更可能です。好みに合わせて調節して下さい。
・ケースのカバー部分を土台部分からスライドさせて脱着する場合、必ずカバー部分だけでなく土台部分を抑えながら行って
ください。カバー部分のみを掴みスライドさせるとケース背面の固定箇所、ステーを使用されている場合はステーの固定
箇所、さらにはステーやケースを固定している車両本体の損傷を引き起こす可能性があります。

ミツバ製車載器用スペーサー

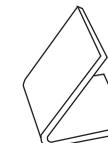
1、ミツバ製MSC-BE51用スペーサー：G51 2、ミツバ製MSC-BE31用スペーサー：G31



アンテナステー



1、アンテナステー（L型）：ANL-B(S)
※色は黒、またはシルバー



2、アンテナステー（V型）：ANV-B(S)
※色は黒、またはシルバー

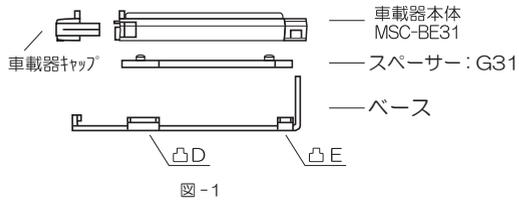


図-1

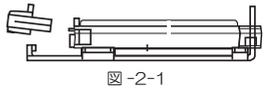


図-2-1

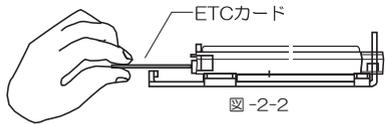


図-2-2

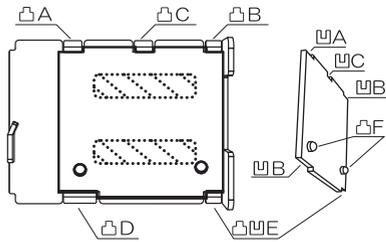


図-3

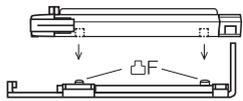


図-4

- ミツバ製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合、ETC ロックケース (EC11-N、EC11-S、EC11-M) に加え別途専用スパーサー :G31 が必要となります。(図-1 参照) (MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合スパーサーには G51、ETC ロックケースは EC51-N、EC51-S または EC51-M をご使用ください。)

※左図はミツバ製車載器 MSC-BE31 を取り付ける場合の図となりますが MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) 使用時も取り付け方法はほぼ同じです。

※専用スパーサー未装着の場合、車載器の蓋の開閉、ETC カードの抜き差しができない状態になります。(図-2-1、図-2-2 参照)

- それぞれ対応する凹凸をご確認の上スパーサーをベースに取り付けてください。(図-3 参照)
- A～D の凹凸を合わせます。位置合わせのため、左右対称となっておりますのでひとつの方向にしかはまりません。

※位置確認後市販の両面テープで確実に固定してください。

- スパーサーを取り付けたベースに ETC 車載器を取り付けてください。(図-4 参照)
- 車載器の配線側がベースの切欠き方向に向くようにします。スパーサーの凸 F と、車載器の裏側にある凹 2 箇所をはめ合せて下さい。

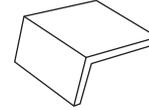
• ETC 車載器に彫られた「ETC MITSUBA」のロゴがスパーサーと向き合うように設置します

※位置確認後市販の両面テープで確実に固定してください。

- 最後に ETC 車載器の蓋がスムーズに開閉することを確認してください。

※ケースの開閉が困難な場合は両面テープの厚みを変更することである程度の調節が可能です。

アンテナを固定するステーには AVL-B(S) と ANV-B(S) の 2 種類がございます。ご使用になる場所、取り付け方法に応じてご使用ください。



- 1、アンテナステー (L型) : ANL-B(ブラック) ANL-S (シルバー)
- 2、アンテナステー (V型) : ANV-B(ブラック) ANV-S (シルバー)

取り付けに際し、ステーを車体にボルト等で固定する場合は穴あけ加工が必要となります。

(アンテナステー使用例)

アンテナステー (L 型) : ANL-B(ブラック) を利用して 2013 年の XL1200X トリブルツリー下部へ取り付け



取り付け例



【ダウンチューブ上部への取付】

2016年モデルのFXSBに
O型ステー：SFOを使用して取り付け
(取付方法①)



【ダウンチューブ上部への取付】

2016年モデルのFat Boy Sに
D型ステー：TRDを使用して取り付け
(取付方法②)



【ダウンチューブ上部への取付】

2015年モデルのFat Boy Loに
D型ステー：TRDを使用して取り付け
(取付方法③)



【ダウンチューブ上部への取付】

2009年モデルのFat Boyに
O型ステー：SFOを使用して取り付け
(取付方法④)



【ダウンチューブ上部への取付】

2013年モデルのCVO Breakoutに
I型ステー：DYIを使用して取り付け
(取付方法⑤)



【ダウンチューブ上部への取付】

2014年モデルのCVO FLSTNSEに
取り付け
(取付方法⑥)



【ダウンチューブ上部への取付】

2006年モデルのFXSTSに取り付け
(取付方法⑦)



【ダウンチューブ上部への取付】

1996年モデルのFat Boyに取り付け
(取付方法⑧)



【車体側面への取付】

2015年モデルのFLSTFB Fat Boy Loに Softtail用サイドステー：SSB（黒）を使用して取り付け（取付方法⑨）



【ダウンチューブ下部への取付】

2018年モデルのBreakoutに Softtail用フロントステー：SFS を使用しての取り付け（取付方法⑩）



【ダウンチューブ上部への取付】

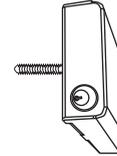
2018年モデルのSofttail Slimに取り付け（取付方法⑪）

取付方法①【O型ステーを使用したダウンチューブ上部への取付】

＜使用するETC ロックケース、ステー＞

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N

2、O型ステー：SFO



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合は EC51-N、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

- CVO モデルも含めた 2013 以降のブレイクアウト
- ロッカーおよびロッカー-C モデル
- ブラックラインモデル

※ブレイクアウトモデルへの取付に関しては 2013 年、2014 年モデルの CVO を除きホーンブラケットのねじ山加工、もしくはホーンの移設が必要です

※ロッカー、ロッカー-C、およびブラックラインモデルへの取付に関してはホーンブラケットのねじ山加工、もしくはホーンの移設が必要です

ロックケースへのステーの取り付け



1. O型ステーをロックケースのボルトに取り付けます。

ETC ロックケースの取り付け



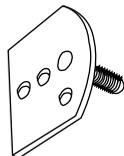
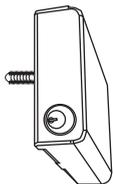
1. フレームの該当箇所①にロックケース本体のスタッドボルトを通します。
※写真のようにホーンブラケットが取り付けられている車両はブラケットのねじ山をドリル等を使用し潰していたくかブラケットを含めホーン自体を移設する必要があります
2. ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認してください。
3. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認してください。

取付方法②【D型ステーを使用したダウンチューブ上部への取付】

＜使用する ETC ロックケース、ステー＞

1、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M

2、D型ステー：TRD



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51 (W)、MSC-BE700 (E) をご利用の場合は EC51-M、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

2010 年以降のソフトテイルモデル

※エンジンガード付車両は取付方法③を参照

※スプリンガーモデル、ブレイクアウト、ロッカー、ロッカー C、ブラックラインは除く

ETC ロックケースの取り付け



- 1 フレームの該当箇所①に D 型ステー TRD のスタッドボルトを通します。
※左右のブレーキラインは ETC ロックケースと干渉する可能性が高いため可能な限り車体側面を移動させ取付位置を確保する



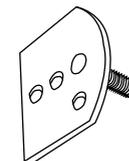
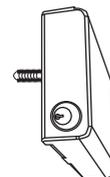
- 1 D 型ステーが下向きになるように取り付けます。
- 2 D 型ステーには穴が 3 つ開いております。ステー中央部の穴②に ETC ロックケース本体のスタッドボルトを通して下さい。
- 3 D 型ステーを回転させ ETC ロックケースと車両本体、またはブレーキラインとのクリアランスが確保できる位置を探ってください。
- 4 各部のボルトを締め付け ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認してください。

取付方法③【D型ステーを使用したダウンチューブ上部への取付】

＜使用する ETC ロックケース、ステー＞

1、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M

2、D型ステー：TRD



3、M8ワッシャー（エンジンガードの付いていないソフトテイルモデルに取り付ける場合に使用）



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51 (W)、MSC-BE700 (E) をご利用の場合は EC51-M、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

2010 年以降のソフトテイルモデル

※エンジンガードの無い車両は取付方法②を推奨

※スプリンガーモデル、ブレイクアウト、ロッカー、ロッカー C、ブラックラインは除く

※車両によっては ETC ロックケース、ブレーキライン、フロントフォークおよびエンジンガード間で十分なクリアランスが確保できないものが存在する。その場合は D 型ステー TRD の加工が必要となる

ボルトの取り外し



- 1 ステー取り付け場所のボルト①を取り外します。

※写真はエンジンガードが取り付けられた車両です。エンジンガードが取り付けられていない車両、および①の箇所にボルトが取り付けられていない車両に関してはこの項目の作業は不要です。

D型ステーの取り付け



- 1 ボルトを取り外した穴にD型ステーのボルト部分を差し込みます。
- 2 ステーは車両を前方からみて左側へ若干傾いた状態で取り付けます。
(ETCケース、および配線がブレーキラインと干渉することを防ぐため)

ETC ロックケースの取り付け_1

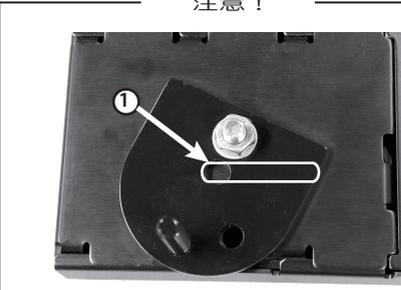


- 1 ステーにETCロックケース本体を取り付けます。
- 2 ケースとステーの配置、およびステーの使用する穴は左の写真を参考にしてください。
- 3 ステーに圧入されたボルトの右に穴①がございます。この穴①をETCロックケース本体の穴と合わせた位置が基準点となります。
車両への取り付け時にはこの基準点をもとにケース本体、配線が車体に干渉しないよう微調整してください。



- 1 ETCロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認してください。
- 2 フロントフォークを左右に振った場合、フロントフォークが沈み込んだ場合のETCロックケースと車両本体間のクリアランスを必ず確認してください。

注意！



- 1 車両の個体差によりケースとフォークカバーとの間に十分なクリアランスが確保できない場合、もしくはケースがエンジンガードと接触するためケースの蓋を開閉することに問題がある場合D型ステーの取付穴を加工して下さい

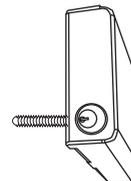
加工例：取付穴①を左の白い枠線で示すように長穴加工し、使用する

取付方法④【O型ステーを使用したダウンチューブ上部への取付】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S

2、O型ステー：SFO



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合はEC51-S、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

2010年以前のソフテイルモデル

※エンジンガードの取り付けられた車両はO型ステー：SFOは不要

※スプリンガーモデル、ロッカー、ロッカーCは除く

※スプリンガーモデル、ロッカー、ロッカーCは取付方法①を参照



1. O型ステーをロックケースのボルトに取り付けます。

ETC ロックケースの取り付け

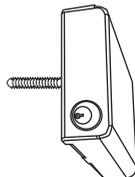


- 1 フレームの該当箇所にロックケース本体のスタッドボルトを通します。
- 2 ETCロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認してください。
- 3 ETCロックケースと車両本体とのクリアランスを確認してください。

取付方法⑤【I型ステーを使用したダウンチューブ上部への取付】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N



2、I型ステー：DYI



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合は EC51-N、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

FX ソフトテイルモデル

（特にエンジンガード付車両。エンジンガード無しの場合は上記I型ステーを使用する必要が無い場合があるので他の取付方法を参照）

※2011年モデルのFXST（エンジンガード付）へ取り付ける場合はI型ステーDYIではなくC型ステーSFCを使用

※スプリンガーモデルは除く

※ロッカー、ロッカーC、ブラックライン、ブレイクアウトへの取付時は要ホーン移設

※スプリンガーモデル、ロッカー、ロッカーC、ブラックライン、ブレイクアウトは取付方法①を参照



- 1 I型ステーをフレーム上部、エンジンガード取付用の穴を利用して固定してください

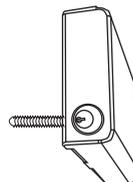


- 1 I型ステーの長穴にETCロックケースのスタッドボルトを通しナットで固定してください。
- 2 ETCロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認してください。
- 3 ETCロックケースと車両本体とのクリアランスを確認してください。

取付方法⑥【その他の取付方法】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合は EC51-S、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

2014年、2015年のFLSTNSEモデル

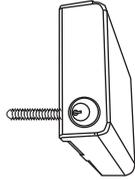


- 1 エンジンガード上部を固定しているボルトを取り外します。
- 2 取り外したボルトの代わりにETCロックケース背面に取り付けられたボルトを使用し、ケース、エンジンガードを固定します。
- 3 ETCロックケースと車両本体とのクリアランスを確認してください。

取付方法⑦【その他の取付方法】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

- 1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合は EC51-S、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

FX スプリンガーソフトテイルモデル

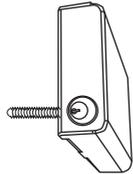


- 1 フレームダウンチューブ上部に設置された穴を利用してETCロックケースを取り付けます。
- 2 フロントフォークとの接触を避けるためケースのキーシリンダーが車体左側になるように取り付けてください。
3. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認してください。

取付方法⑧【その他の取付方法】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

- 1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S

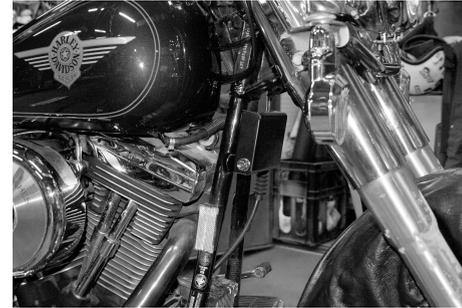


※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-S、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

エボリューションソフトテイルモデル

※エンジンガード付車両は除く



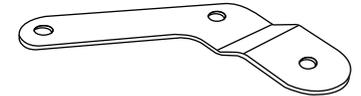
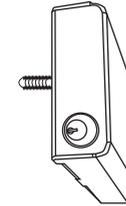
- 1 フレームダウンチューブ上部に設置された穴を利用してETCロックケースを取り付けます。
- 2 ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認する。

取付方法⑨【Softail 用サイドステーを使用した車体側面への取り付け】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

- 1、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M

- 2、Softail用サイドステー：SSB（またはSSC）



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合は EC51-M、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

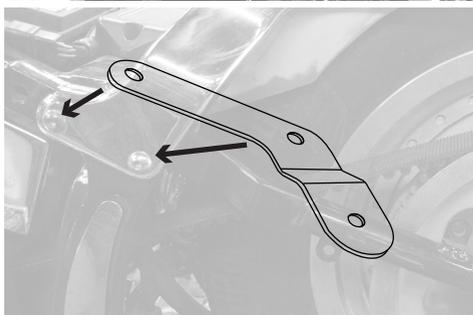
ツインカムソフトテイルモデル

Milwaukee-Eight ソフトテイルモデル

※タンデムステップとETCロックケースの干渉、およびタンデムステップに足を置いた際、足とETCロックケースとの接触に注意（特にFX系モデル）



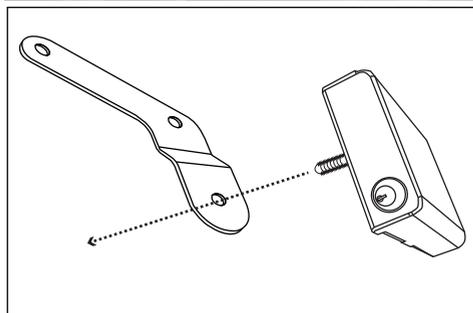
- 1 リアフェンダーサポートを固定している①のボルト2本を取り外します。



- 1 ステアの各穴をリアフェンダーサポートのボルト穴と合わせ先ほど取り外したボルトで固定します。

※Breakout(-2017)は10mmのカラー2個、長さ1-3/4inchのボルト2本が別途必要です

※Breakout, Sports Glide, Fat Boy (2018-)は10mmのカラー2個、長さ1-3/4inchのボルト2本が別途必要です



- 1 ステアの穴にETCロックケースのボルトを通しナットで固定します。



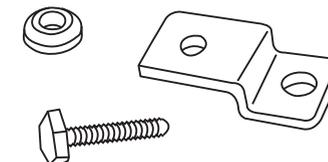
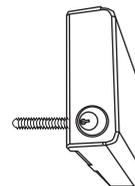
- 1 ETCロックケースと車両本体、サイドバッグおよびタンデムステップとのクリアランスを確認してください。
- 2 後部座席に跨りタンデムステップに足を置いた際、足を置ける面積が十分確保できているか確認して下さい。

取付方法⑩【Softail 用下ステーを使用した車体前面への取り付け】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S

2、Softail用フロントステー：SFS



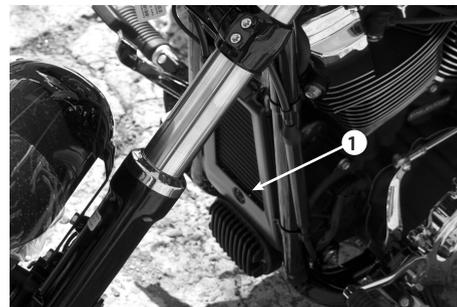
※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51 (W)、MSC-BE700 (E) をご利用の場合は EC51-M、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

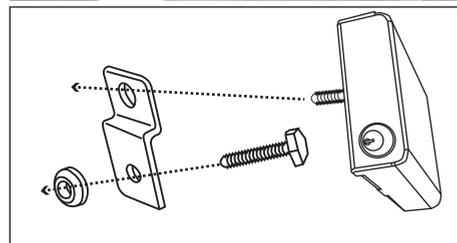
取り付け可能車種

2018年以降のソフトテイルモデル

*Deluxe、Heritageはフロントフェンダーと干渉するため取り付け不可



- 1 オイルクーラーカバーを固定している①のボルトを取り外します。



- 1 図のようにケースをステーに取り付けます。
- 2 付属のボルトを使用しケース、ステーを車体に取り付けます。
- 3 取り付け時、ケース背面のボルトを約5mm切断してください（オイルクーラーとの接触を避けるため）

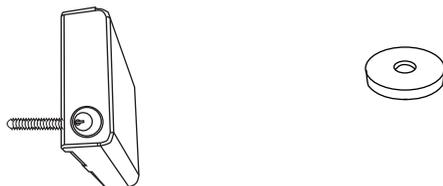


- 1 ETCロックケースと各部とのクリアランスを確認する。

取付方法①【車体前面上部への取り付け】

＜使用するETCロックケース、ステー＞

- 1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S 2、O型ステー：SFO



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51(W)、MSC-BE700(E) をご利用の場合はEC51-M、およびスペーサー：G51 をご使用ください。

取り付け可能車種

2018年以降のソフテイルモデル
*エンジンガード取り付け車両は除く



- 1 縦に並んだ下側の穴①にロックケースの取り付けボルトを差し込み固定します



- 1 取り付ける際、フレームとロックケースの間にステーSFO および約3.3mm厚のワッシャー等を挟んでいただく必要があります